



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年7月30日

上場会社名 株式会社電算 上場取引所 東  
 コード番号 3640 URL <http://www.ndensan.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 轟 一太  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 丸山 沢水 TEL 026-224-6666  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	2,501	△8.8	△190	—	△190	—	375	—
27年3月期第1四半期	2,743	10.4	△172	—	△173	—	△130	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	68.67	—
27年3月期第1四半期	△22.75	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	15,545	7,459	47.9	1,363.78
27年3月期	17,246	7,625	44.2	1,396.68

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 7,452百万円 27年3月期 7,625百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,387	3.3	△517	—	△496	—	131	—	24.05
通期	13,900	7.4	370	△21.5	383	△21.3	722	320.2	132.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、平成27年6月30日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	5,837,200株	27年3月期	5,837,200株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	367,200株	27年3月期	377,400株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	5,462,973株	27年3月期1Q	5,720,755株

(注) 期末自己株式には、「電算従業員持株会専用信託口」が保有する当社株式（28年3月期1Q 75,400株、27年3月期 85,600株）が含まれております。また、「電算従業員持株会専用信託口」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（28年3月期1Q 82,427株、27年3月期1Q 116,445株）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産部門の回復基調を反映し、株式市場が好調に推移し企業収益や雇用情勢が改善するなど、景気は緩やかな回復傾向で推移いたしました。しかしながら、ギリシャ債務問題等、海外景気の下振れのリスクも残っており、消費回復の先行きは不透明な状況が続いております。企業の情報関連投資は回復傾向で推移しているものの、当社が属する情報サービス業界におきましては、受注環境は依然として厳しい状況にあります。

このような状況のもとで、当社は、引き続き新規顧客の開拓並びに市区町村向けのシステムリプレイス、リース業向けリーストータルシステム、医療機関向け医事会計・電子カルテシステムなどの病院情報システム、番号制度導入に向けたマイナンバー管理の新システム及びデータセンターサービスの受注活動に注力いたしました。

当第1四半期累計期間におきましては、公共分野での法制度改正対応やシステムリプレイス、また産業分野でのリーストータルシステムの保守やコンテンツ・マネジメント・システム(CMS)構築等で概ね当初計画通りの売上を確保しましたが、全社的なシステム開発・導入案件の受注が減少したことにより、前年同期と比べ減収となりました。

また、平成27年5月13日に開示いたしました「投資有価証券売却益(特別利益)の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、当社が保有するSinoCom Software Group Limitedの株式について、保有株式の一部を売却したことにより、当四半期において投資有価証券売却益を計上しております。なお、平成27年5月13日の開示の時点では、596百万円の投資有価証券売却益を計上することとしておりましたが、その後、当該株式を追加売却した結果、当四半期の投資有価証券売却益は676百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,501百万円(前年同期比8.8%減)、経常損失は190百万円(前年同期は173百万円の経常損失)及び四半期純利益は375百万円(前年同期は130百万円の四半期純損失)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## &lt;公共分野&gt;

定例業務である住民税・固定資産税・軽自動車税等の受託処理及び総合行政情報システム(Reams.NET)等のシステム使用料・保守料収入の他、臨時福祉給付金、介護保険制度等の法制度改正対応を行いました。また、番号制度に対応したシステム改修及び新総合行政情報システムの開発を引き続き進めております。

当第1四半期累計期間におきましては、上記の定例業務の他、財務会計システムリプレイス等により概ね当初計画通りの売上を確保したものの、前年同期に比べ法制度改正が少なかったこと、また新総合行政情報システムの研究開発により前年同期と比べ減収減益となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,787百万円(前年同期比14.0%減)、営業損失は102百万円(前年同期は44百万円の営業損失)となりました。

## &lt;産業分野&gt;

定例業務である給与計算、口座振替等の受託計算処理及びインターネット接続サービスの他、リース業向けリーストータルシステムの保守、医療機関向け病院総合情報システムの導入・保守、データセンターサービスの提供等を行いました。

当第1四半期累計期間におきましては、上記の定例業務の他、リーストータルシステム及びコンテンツ・マネジメント・システム(CMS)の構築等で前年同期に比べ増収増益となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は714百万円(前年同期比7.2%増)、営業損失は86百万円(前年同期は132百万円の営業損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して1,700百万円減少し、15,545百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,721百万円、商品が105百万円、仕掛品が144百万円及び繰延税金資産(固定資産)が129百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が2,971百万円及び投資有価証券の売却により投資有価証券が764百万円減少したことによるものです。

負債は前事業年度末と比較して1,534百万円減少し、8,085百万円となりました。これは主に前受金が336百万円増加したものの、買掛金が526百万円、短期借入金が460百万円、未払金が410百万円及び賞与引当金が334百万円減少したことによるものです。

また、純資産は前事業年度末と比較して165百万円減少し、7,459百万円となりました。これは主に四半期純利益により375百万円増加したものの、期末配当により94百万円及び投資有価証券の売却によるその他有価証券評価差額金が478百万円減少したことによるものです。

なお、自己資本比率は、47.9%（前事業年度末44.2%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の業績は、売上につきましては、概ね当初予算通り、また利益につきましては、コスト削減と経費の執行時期の変更により、当初予算より赤字額が改善しております。なお、平成28年3月期の業績予想につきましては不確定要素もあるため、平成27年5月13日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,534,835	3,256,116
受取手形及び売掛金	4,872,298	1,901,247
商品	46,927	152,704
仕掛品	288,585	432,913
原材料及び貯蔵品	32,375	36,111
その他	1,106,900	1,040,213
貸倒引当金	△1,491	△929
流動資産合計	7,880,431	6,818,377
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,271,150	5,186,589
土地	1,732,845	1,732,845
その他(純額)	587,577	549,214
有形固定資産合計	7,591,574	7,468,649
無形固定資産	230,848	344,770
投資その他の資産		
その他	1,553,614	924,352
貸倒引当金	△10,426	△10,455
投資その他の資産合計	1,543,188	913,896
固定資産合計	9,365,611	8,727,317
資産合計	17,246,042	15,545,694

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,031,485	505,017
短期借入金	3,214,000	2,754,000
1年内返済予定の長期借入金	317,040	317,040
未払法人税等	78,637	12,248
賞与引当金	674,089	339,754
製品保証引当金	2,582	2,341
受注損失引当金	-	12,039
その他	1,492,169	1,450,686
流動負債合計	6,810,005	5,393,127
固定負債		
長期借入金	1,169,520	1,090,260
退職給付引当金	1,176,909	1,183,101
資産除去債務	405	405
その他	463,609	418,923
固定負債合計	2,810,445	2,692,690
負債合計	9,620,450	8,085,817
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,395,482	1,395,482
資本剰余金	1,058,068	1,062,982
利益剰余金	5,407,013	5,689,333
自己株式	△796,199	△777,473
株主資本合計	7,064,365	7,370,324
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	561,227	82,276
評価・換算差額等合計	561,227	82,276
新株予約権	-	7,275
純資産合計	7,625,592	7,459,876
負債純資産合計	17,246,042	15,545,694

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,743,572	2,501,406
売上原価	1,820,935	1,640,547
売上総利益	922,636	860,858
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	304,998	273,458
賞与引当金繰入額	106,048	93,928
研究開発費	317,623	323,597
貸倒引当金繰入額	△178	△474
その他	366,767	360,372
販売費及び一般管理費合計	1,095,260	1,050,883
営業損失(△)	△172,624	△190,024
営業外収益		
受取利息	101	102
受取配当金	3,652	3,905
為替差益	—	2,957
その他	1,018	1,139
営業外収益合計	4,772	8,104
営業外費用		
支払利息	5,156	5,505
為替差損	284	—
新株予約権発行費	—	2,700
その他	193	179
営業外費用合計	5,634	8,385
経常損失(△)	△173,485	△190,305
特別利益		
投資有価証券売却益	—	676,636
特別利益合計	—	676,636
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△173,485	486,330
法人税、住民税及び事業税	12,558	2,704
法人税等調整額	△55,880	108,490
法人税等合計	△43,321	111,194
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△130,164	375,136

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。